

北澤翠香先生選評



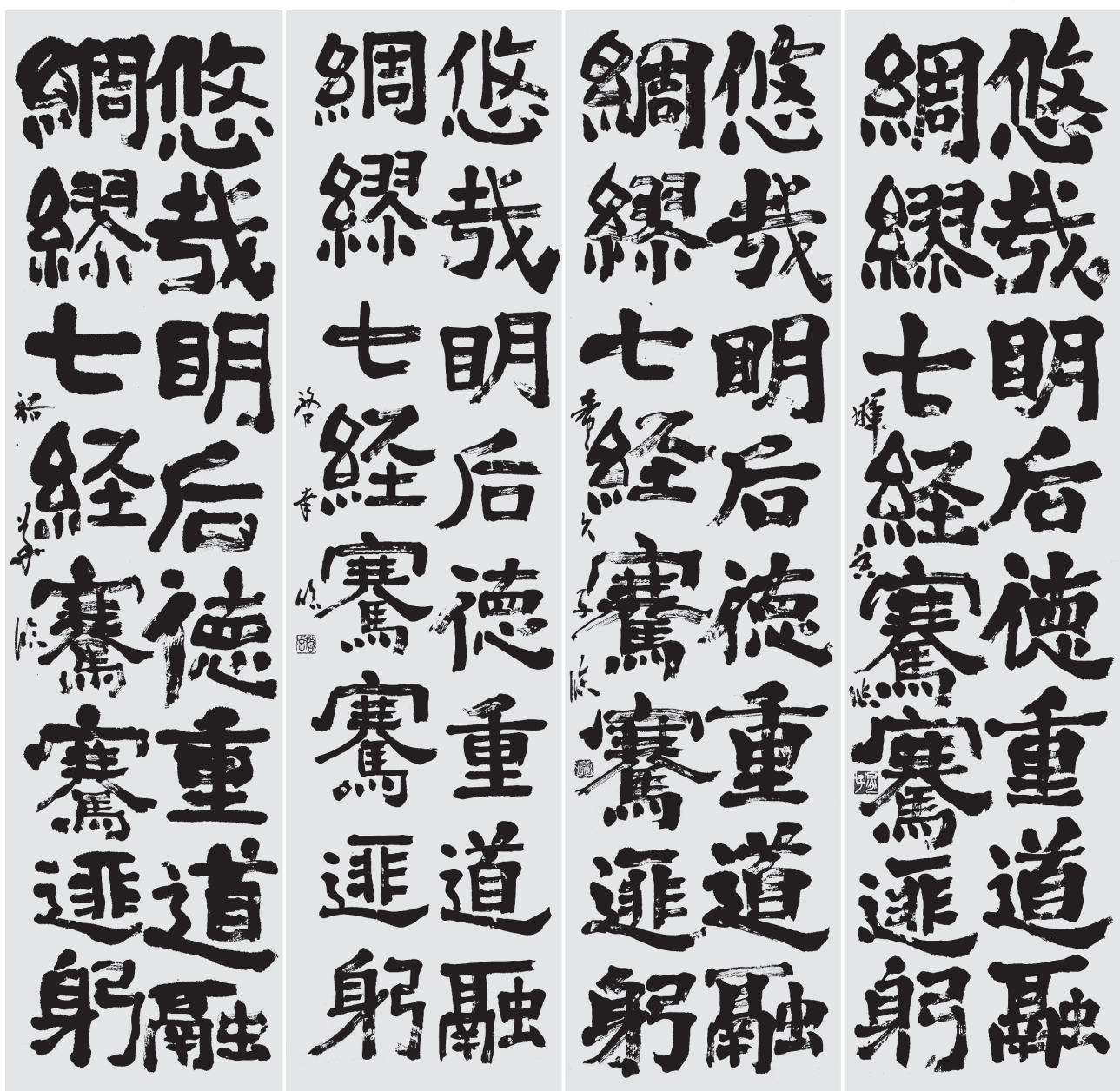
藤原博文 推選  
雄大な迫力に圧倒されます。紙面を大きく捉え、迷いもなく、線の太細・浮沈を大胆な絶妙な筆致で、颯爽と駆け巡りピタッと収まりもよく、王者の風格です。

坂本千陽 推選  
インパクトのある「雪」は、静寂さが漂っています。「獨り干鯉」を潤筆で気負わず妙味を出し、絵面を見ているようです。一流の感性をお持ちの方ですね。

数井春悦 推選  
二行の構成がお洒落で、余白を大きく取り、筆の抑揚が冴え渡り、多彩な線・造形美が織りなす綾に、感嘆する。煩くなく、破筆で渴筆の線の纏めも粹である。

有明直宏 推選  
茶墨を効果的に蔵鋒を駆使した横画の運筆は、強弱と融合し懐の広い立体的な高品質の風情ある作品となりました。呼吸の長い線質は参考作品の学書からの賜物。

高野清玄先生選評



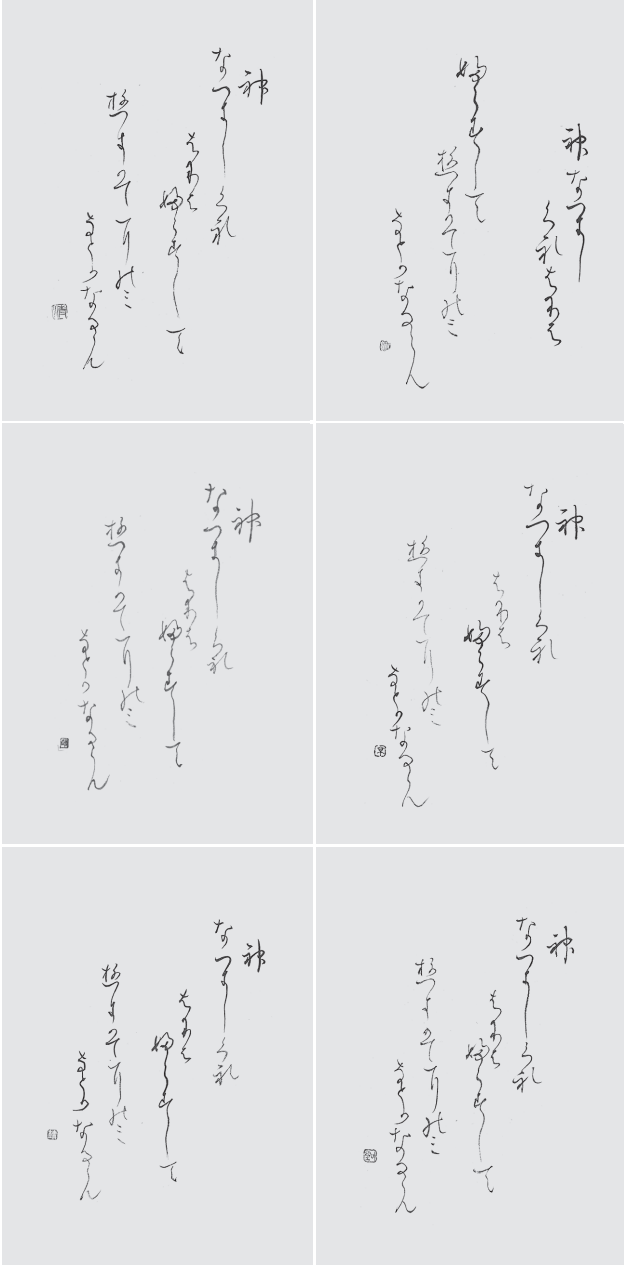
富永暉香 推選  
 たつぷりと墨量多く書かれ  
 渴いた石碑に潤いがもたら  
 された。隸意の入れ方が巧  
 みで重厚感のある趣きが上  
 手に表現されて素晴らしい。  
 縦長になる文字あり一考。

早川希久子 推選  
 変化のある逆筆藏鋒の筆遣  
 いに、ゆったりとした運筆  
 が大らかな流れを感じさせ  
 て佳。線の細太も考えられ  
 ており、作品が立体的に見  
 せられる様工夫されている。

野本啓幸 推選  
 細めの線で統一され、全体  
 を隸意に比重を多くして作  
 品を纏めている。よって余  
 白が多くなり明るく爽やか  
 な雰囲気心地よい。少し  
 右上がりを加えるのも良い。

源甲斐裕華 推選  
 隸意ある逆入れの起筆が紙  
 面をしっかりと捉えて引つ  
 かかる抵抗感ある線が描か  
 れている。潤渴の妙も面白  
 く動きを感じさせる。部分  
 的であるが滲み過ぎが重い。

笠原博子先生選評



**松嶋清苑** 八段  
しつかり「かな」と向き合い学ばれて好感の持てる作品です。タッチの軽い部分が、少し気になりますが、行は滑らかに流れています。

**小松靖子** 六段  
しなやかで柔らかな筆の運びで、やさしい温かい作品です。墨色をやや濃くすると、潤濁太細の変化が際立ち、更に表現の厚みが出るでしょう。

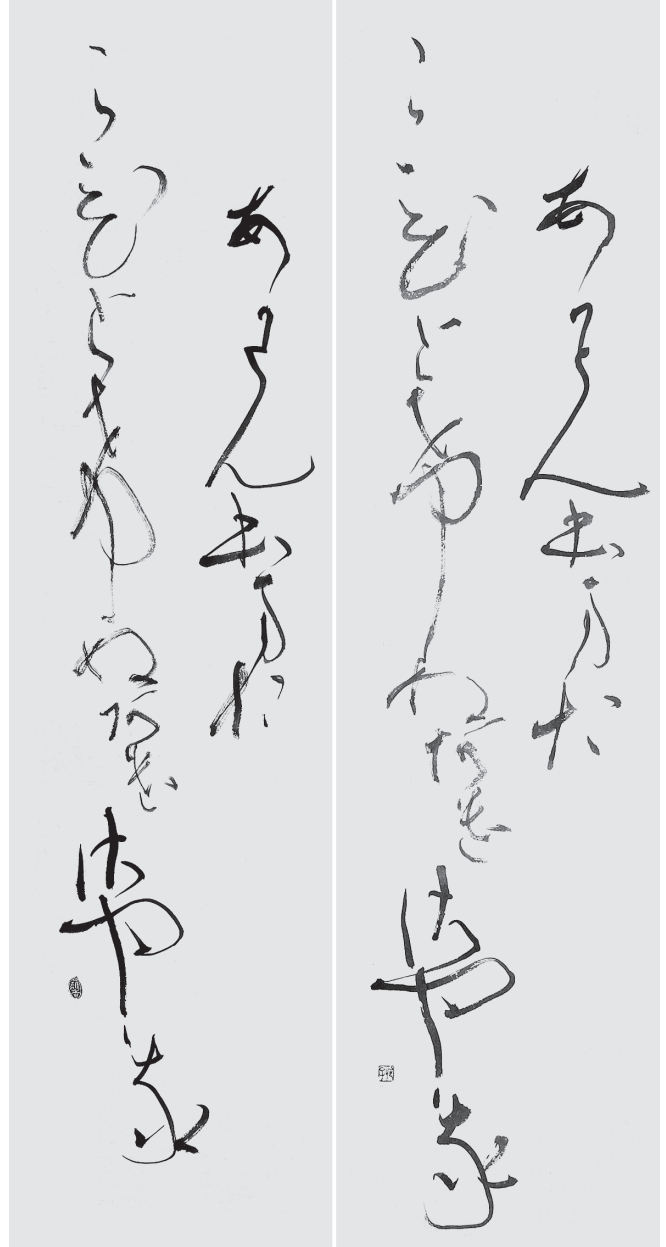
**佐藤靖恵** 五段  
やや小ぶりですが、淡々と書かれているように見え、実はきちんとそのポイントを押さえ、明るい印象になりました。次の期待が高まります。

**山本弘美** 師範  
原帖をしつかり読みとり、確かな線質で伊勢集の格調高さを表現されています。散らし方も工夫され、潤濁や太細、間のとおり方も効果的です。

**下村京子** 師範  
迷いのない筆線から、学びの深さを感じます。暢びやかで清らかな線条。美しい潤濁表現。行間のとおり方の工夫で更に作品が輝くでしょう。

**川並ともみ** 準師  
しつかりと筆管を立て、紙を捉えている筆線は確かな力量を感じます。緩急とご自身の息づかいが加わると、さらに作品に趣が出てくるのでは。

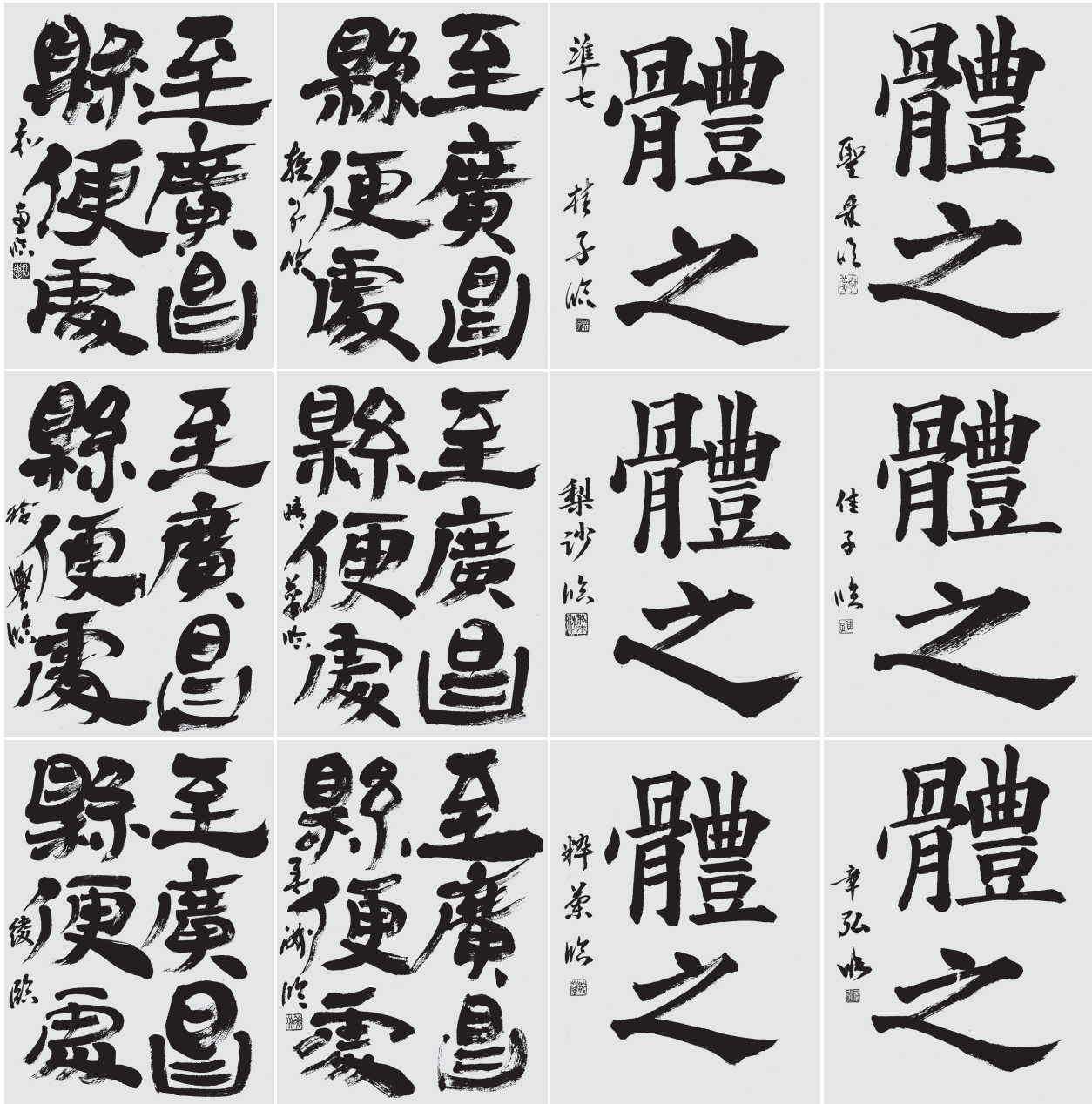
佐々木優子先生選評



**村田籬香** 推選  
墨色、墨量が作品にとって大切な要素、見事に決まった作品です。ソフトな温かみある線質で表現され、終句の表情が楽しく魅力的です。

**小林悦子** 推選  
運腕大きくダイナミックな運筆に柔らかな墨色が相まって余白の美しさを引き出しています。一行目、二行目が響き合い程よい渴筆が終句を際立たせ見事な作品。

藤田壽樹先生選評



江戸聖采 師範  
全体バランス良く  
ゆつたりとした風  
情の作で章法もし  
っかりとしており  
完成度が高い。落  
款も見事。転折に  
入る前の横画二箇  
所細過ぎて要注意。

聖采

田中桂子 準七  
良く落ち着いた表  
情で原帖を的確に  
観察し臨書する姿  
勢を感じる。特に  
起筆の二箇所が素  
晴らしい。「體」は  
もつと縦長になれ  
ば更に良かった。

準七 桂子依

梨沙

粹茶

石田雅子 師範  
周到に行き届いた  
運筆で味わい深い  
線と、ゆつたりと  
よく落ち着いた取  
めが相俟って完成  
度が高い。変化の  
中に静謐さを感じ  
させた熟達の作。

雅子依

梨沙依

雅子依

太田和恵 準七  
雄渾で一気果敢に  
表現された快作。  
空間を大きく明る  
く捉えている。そ  
のため紙面の中に  
広大な宇宙を醸し  
出しており作品を  
輝かせている。

和恵依

和恵依

和恵依

所佳子 準師  
一点一画をじつと  
りと大切に運筆し  
ており好感を持つ。  
特に「之」は強く  
揺るぎのないもの  
になっている。「體」  
は今少し縦長にな  
ると更によい。

佳子

曾場梨沙 三段  
これぞ九成宮とい  
う臨書で感服の作。  
整然とした縦長の  
字形、きりりとし  
た背勢、強く引き  
締まった直線的な  
線等とこととて  
も見事な作品です。

梨沙

久保田晴菜 準師  
飾らない筆致から  
生まれる素朴な線  
は簡素で明るく大  
らかな自然体で魅  
力がある。横画の  
終筆の際の引き上  
げる筆遣いを研究  
されたい。

晴菜

小谷玲音 三段  
一貫したリズムの  
書きぶりで佳調。  
創作ともとれる端  
正で見事な統一性  
に力量の程を感じ  
る。終筆に針のよ  
うな形状が多くな  
り気になるところ。

玲音

清水章弘 八段  
爽やかで暢びやか  
強靱な張りを感じ  
させる線で書かれ  
素晴らしい。また  
きりりとした起筆  
が絶妙。研ぎ澄ま  
された風趣が全体  
を包む。落款も佳。

章弘

林田粹蘭 準二  
どの線を取っても  
真摯な態度で表現  
されている。その  
良く浮沈した趣が  
作品を効果的に引  
き立てており心惹  
かれる。「之」の右  
払いには一考を。

粹蘭

山口美洲 七段  
字形を小さくまと  
めながらも縦横無  
尽に動いた達者な  
筆致。多彩な線質  
と太細の大胆な変  
化も素晴らしい。  
木簡臨書の楽しさ  
が伝わってくる作。

美洲

中里綾 五級  
悠揚として大らか  
な筆遣いと筆脈の  
自然な流れに心惹  
かれる作。波磔部  
分の筆の開きや起  
筆の強弱の変化等  
然り気なく表現さ  
れて完成度が高い。

綾